

## 第18回「みらいっこまつり」開催報告

今年度も、平成29年12月8日(金)、9日(土)の両日、みらいっこまつりを無事開催することができました。共同機構の各団体の皆様には、お忙しい中、様々な楽しい催しを企画、実施していただき、本当にありがとうございました。第1研修室のイベントは、手遊びや歌や踊りで、会場一杯に集まった親子がふれあいながら笑顔いっぱいでした。また、お部屋での催しも、多くの方にご参加いただきました。2日間合わせて400名以上の親子が来場され盛況に終わることができました。ご協力ありがとうございました。

 みらいっこわくわくコンサート  
 公社 京都市私立幼稚園協会

 わくわくステージみんなあつまれ  
 京都市保育士会

 みんななかよしお楽しみ会  
 京都市立幼稚園長会

 エアマットであそぼう  
 公社 京都市保育園連盟

 赤ちゃんほっこりコーナー  
 京都市営保育所長会


### その他の催しでも楽しんでいただきました

- ☆お茶席体験コーナー (竹間自治連合会)
- ☆似顔絵コーナー (京都市立銅駝美術工芸高等学校の生徒さん)
- ☆おもちゃ病院 (SKYおもちゃ病院)
- ☆オルゴールコンサート (キコーオルゴール)
- ☆人形劇 (京都女子大学人形劇団たんぽぽ)
- ☆みんなでフラダンス (楽'ohana)
- ☆親子でほっこりふれあいあそび  
(京都市営保育所地域子育て支援拠点担当)
- ☆あかちゃんといっしょにあそびましょ〜♪

(子育てネットワーク)

# 保育園(所)、幼稚園、認定こども園と小学校が何を繋げるのか

講師 岸田 蘭子 京都市立高倉小学校長

園と小学校が何を繋げるのか。そもそもなぜ繋げるのかを問われるとき、真ん中においているのは子どもです。その子がどのような発達の道筋の中であっても、しっかりと幸せに育ってってくれるために、繋がる必要があります。子どものことを理解し、よりよく成長して欲しいと願うのは園の先生も小学校の先生も同じです。けれど、意識するところの度合いや、方向が違っていたりするのではないのでしょうか。そのぶれをどうやって一致させていくかということだと思います。

まずは、互いの保育や教育の内容、そして、どのような仕事があり、大変さはどこなのか等、知り合い分かり合うということが大事だと思います。そして子どもの情報を共有し、子どもの発達の道筋を知ること、そのためには一緒に語り合い学び合うことが有効です。

具体的な方法としては、実際の教育・保育現場を見合ったり、保幼小連絡会をしたり、交流行事をしたりする等、様々に考えられます。一番できそうなことから、一つでも一歩でも踏み出せばいいと思います。園や学校、地域の実態は様々です。けれども、実態が違うからこそ特色ある連携を踏むことができます。そして実態は違えども大切にしたい根っここのところは同じです。

特に大切に築いていきたいのは園と学校の先生同士の信頼関係です。保幼小連絡会や行事のときだけではなく、何かあったらすぐに電話をかけた見に行かせてもらったりするような関係づくりをしていくことが大事です。また、園の先生方の見取りや思いから、子どもの育ちを知ることには大変重要だと考えています。どういうふうに見守り、送り出し、育って欲しいと願われているのかを共有させてもらうことが、その子の育ちをしっかりと見取っていくことに繋がると思うからです。一番大事なのは「子どもをよく見る」ということではないのでしょうか。園の先生と小学校の先生の複数の目で、子どもの育ちをどう読み込んでいくのか、それこそが連携そのものなのではないかと思っています。

子どもは小学校でたくさんのかたちを学び、できるようになります。でもその土台をつくっていただいているのは園の先生方です。根っこの部分をたくさん育ててもらってきたからこそ、子どもたちは花を開かせていくことができるのです。思いを繋げ、みんなで大切に見守り育てていきたいと思っています。

講義の詳細は、要録ページをご覧ください。 [要録ページへ](#)

## DVDで研修しませんか。

保育園(所)・幼稚園・認定こども園の先生方を対象に、平成16年度からの共同機構研修会で講師の了承を得られた講義DVDの貸し出しをしています。職場研修での利用はもちろん、職場の有志の仲間が集まって、また1人でじっくりと勉強してみませんか。詳しくはみらい館HPの「研修・研究」→「共同機構研修会」をご覧ください。

～実際に利用された先生方の感想から

貸出ビデオ名:平成21年度実施研修「ちょっと気になる子どもとは～育ち合う集団づくりのために～」 講師:服部敬子氏

研修概要:職場研修 研修参加人数:13名 貸出期間:10日間

・障害があるに拘らず、子どもたち1人ひとりが持っている「発達に対する願い」を丁寧に受け止め、寄り添うことの大切さを改めて感じました。その為には、それぞれの年齢における発達の特徴はもちろん、障害についての知識、特有の困難さについての理解を深める必要があると思いました。DVDを見て学んだことを今後の保育に活かしていきたいと思っています。



貸出ビデオ名:平成26年度実施研修「乳幼児期発達障害の基礎理解と具体的な関わり方」 講師:竹田契一氏

研修概要:職場研修 研修参加人数:6名(4名, 1名, 1名の3日に分けて実施) 貸出期間:20日間

・フラッシュバック現象や痛みに鈍感、聴覚過敏などを学んだ。視覚支援は有効だと思った。今行っている以上の視覚支援があれば、より優しい支援ができるのではと思った。今まで出会った子どもたちを思い出しながらDVDを観た。その子に何が必要なのか、発達を見極めながら、必要な支援を行っていくことの大切さを改めて感じた。

・ADHD、アスペルガー障害などの話を具体例を上げて分かりやすく話を聞くことができた。今関わっている子どもの支援のヒントや具体的な関わり方も共感でき、勉強になった。



子どもを育む喜びを感じ、親も育ち学べる取組を進めます。

「京都市はぐみ憲章」より



この印刷物が不要になれば「雑がみ」として古紙回収等へ!



発行日 平成30年1月22日  
 発行者 京都市子育て支援総合センターこどもみらい館  
 〒604-0883 中京区間之町通竹屋町下る楠町601-1  
 Tel (075)254-5001 Fax (075)212-9909  
 URL <http://www.kodomomirai.or.jp>